

日本大学・木浦大学共同国際ワークショップ

# 東アジアにおける歴史・言語・文化

10月17日（土） 会議室B・C（本館1階）

10:00-10:10 開会の辞（小平麻衣子）

## <Session1>

10:10-10:30 報告 1

朴 贊基（木浦大学）「江戸時代の朝鮮通信使と歴史小説」

10:30-10:50 報告 2

兪 承昌（木浦大学）「大江健三郎『個人的な体験』とアフリカ認識」

10:50-11:10 報告 3

紅野謙介（日本大学）「『怪写真』と交わらない視線-朴烈・金子文子と「朝鮮」表象-」

11:10-11:30 コメント（小平麻衣子）

11:30-12:00 討論

12:00-13:30 昼食&キャンパス見学（文理学部資料館展示室）

## <Session2>

13:30-13:50 報告 4

林 春城（木浦大学）「東アジアの言説-孫歌、小森陽一、丸川哲史そして徐京植」

13:50-14:10 報告 5（Japanese）

山口 守（日本大学）「アイダ・プルーイトと義和団事件-ふたつの国家、ふたつの文化」

14:10-14:30 コメント（三澤真美恵）

14:30-15:00 討論

15:00-15:20 休憩

## <Session3>

15:20-15:40 報告 6

梁 慶模「メタファーと言語表現-〈上下〉関係の転用の様子」

15:40-16:00 報告 7

崔 鉞植「逸伝文献と朝鮮仏教思想史の見直し」

16:00-16:20 コメント（鈴木功真）

16:20-16:50 討論

16:50-17:00 閉会の辞（小平麻衣子）

18:00- 懇親会